

# 北中だより

校訓：自主 明朗 協同

南島原市立北有馬中学校  
令和6年1月11日発行  
文責：校長 上田 敏浩

## あけましておめでとうございます

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月9日（火）に、気持ちも新たに3学期の始業式を行いました。1日から能登半島地震、2日には飛行機の事故と、心痛む新年のスタートとなりましたが、生徒たちの明るく登校した姿を見て、気持ちを新たにしました。始業式では、次のような内容の話をしました。



初日の出

能登半島では大きな地震により、多くの方が亡くなられ、大きな被害が出ています。被災地の方々に思いを寄せ、私たちにできることを行っていきましょう。また、北有馬でも約100年に大地震があり、26名の方が亡くなられたという記録があります。決して他人事とせず、改めて日々の大切さや命について考え、防災に対する意識を高めましょう。

3学期は、一年間のまとめの学期。これまでのことを振り返り、次のステージに生かすことを心がけましょう。

3年生は、自分や仲間が望む進路の実現に向けて、全力で取り組みましょう。また、3年後は成人になることを意識しましょう。

1・2年生は、先輩のいいところを見習い、北有馬中の良さをさらに高めていきましょう。

年頭にあたり、次の言葉を紹介します。「ふだんを変える。それが一番人生を変える。」

勉強や部活動、人とかかわり方など、普段のありかたを見つめなおし、今までと違う自分になることで、よりよい3学期にしていきましょう。

続いて、1年生代表城代璃音さん、2年生代表中岡礼仁さん、3年生代表城代叶愛さんが、3学期の抱負を述べました。以下は、述べた抱負のポイントです。

1年生代表 城代さん ①周りの人と声をかけあう  
②周りを見て積極的に動く

2年生代表 中岡さん ①発表を積極的に行う  
②責任を持って生活する  
③臨機応変に対応する

3年生代表 城代さん ①受験に力を注ぐ  
②いいところを残す



抱負を述べる3年生城代さん

3人とも大切なことを述べてくれました。併せて卒業や進級に向けても思いを語ってくれました。代表して発表してくれた3人の思いを自分のこととして受け止め、3学期もよい学校生活が過ごせることを、大いに期待しています。

また、生徒指導の田口教諭より3学期心がけることとして、

①まとめと準備の時期であること（特に相手に届く挨拶をする）

②より良い学級学年にすること（特にルールを守ること）

③相手のことを考えること

について話がありました。

## 生徒会役員引継式 ～次の1年を託して～

9日（火）生徒会役員引継式を行いました。これまでの生徒会役員としての思いを伝え、新役員としての思いを新たにす式となりました。

旧役員からは、先輩たちに支えられていたことを実感したことや、計画的に物事を進めることを学んだこと、寺田史也旧生徒会長からは、周りを見て行動することや準備や計画の大切さ、協力して頑張ってもらいたいなど、旧役員から新役員への期待を含めた話が続きしました。

新役員を代表して、中村翼新生徒会長からは、余裕をもって計画していくこと、明るく楽しい学校、一人一人の意識が高い学校を目指し、手本となり引っ張っていけるよう努力するという話がありました。

65年以上にわたり受け継がれている校旗の引継ぎも行われ、新しい生徒会の誕生となりました。

旧役員の皆さん、表舞台では見えない様々な苦勞や葛藤があったと思います。よい北有馬中学校を受け継ぎ築いてくれた皆さんに、心から感謝します。また、新役員の皆さん、これまでの先輩方が築いてきたものを受け継ぎ、より良い学校や学級になるように取り組みましょう。



委嘱状を渡す中村新会長



旧生徒会役員の皆さん



校旗を引き継ぎます

## 松尾さん、優秀賞に輝く ～イングリッシュ・スピーチコンテスト～

12月23日（土）に行われた南島原市イングリッシュ・スピーチコンテストで、松尾夏星さんが優秀賞を受賞しました。また、大仁田理彌さんも努力賞を受賞しました。当日は、2・3年年生の出場者もいる中、テーマである「わたしのふるさと」について、それぞれ自分の思いをきれいな発音で堂々とスピーチしました。



大仁田さんの発表



松尾さんの発表

## 改めて考えよう、地元への思い

1月8日（月）の新聞に、長与町の高校生の、次のような内容の投稿が紹介されていました。

大学卒業後は、大手企業等で働く姿をイメージする中で、地元で就職して何かをするという考えがなかったことに気づいた。地元で貢献できる仕事もあるのではないかと。若者は都会に惹かれる。就職・娯楽面の施設・生活のやすさなどあるが、皆が同じように出て行ってしまえば、田舎は廃れる一方である。自分を育ててくれた長崎に恩返しができるなら、それも生きがいだと思う。大学でたくさんの経験をして視野を広げた後に、変わらず温かな故郷に戻ってきたい。

また、ある学年の学級通信には、冬休みの生活が紹介してありました。餅つきをしたこと、雑煮を食べたこと、鬼火をしたことなど、ここを離れてしまうとおそらくできないであろう経験の数々が記されていました。

地元のためにしたいことやしてみたいことを、3年生に尋ねたところ、次のような回答が寄せられました。

- ・いろいろな地域のイベントに参加して、いろいろな人に広めたい。
- ・ボランティア活動に参加する。
- ・南島原市や北有馬町のお店で買い物をする。
- ・特産物の宣伝。
- ・南島原市の文化やいいところを、知らない人に教えたい。南島原市や北有馬町のことについて話す。
- ・海岸清掃やごみ拾いをする。
- ・SNSで良さを広げる。 など

先の高校生の投稿から将来について考え、皆さんの地元への思いを大切にしてほしいと思います。就職事情もあるでしょうが、働いて得たお金の使い方の面から、将来を考えてみてほしいのではないかと思います。

## 健康管理に努めましょう

始業式の日から、インフルエンザや新型コロナによる出席停止が続いています。感染予防には十分努めていると思いますが、改めてうがいや手洗いなどをしっかり行いましょう。場所によってはマスクの着用も心がけましょう。

3年生は、1月15日（月）から私立高校の入学試験が始まります。実力を発揮できるよう体調を万全にして、試験に臨みましょう。